

デジタル・イメージング技術部会 講演要旨

開催日：2016年7月5日（火） <2016-2 ①>

テーマ：「嗜好性被写体の推定に基づく自動撮影システムに関する研究」

講演者：津村徳道部会長（千葉大学 大学院融合科学研究科 准教授）

近年、デジタルカメラの一般ユーザへの普及に伴い、撮影技術の不足を補う様々な自動機能が開発されている。たとえば、自動で被写体に焦点を合わせるオートフォーカスや、照明の色を推定して色調を自動調整するオートホワイトバランスなどが搭載されており、撮影技術が未熟な人でも、好ましい写真を手軽に撮影することが可能となってきた。新しい自動機能として、オートフォーカス時にカメラ側がユーザの興味（嗜好性）を判断し、フォーカスすべき被写体を推定する機能が提供され始めている。そこで本研究では、まず主観評価実験により嗜好性評価結果を取得し、従来の Saliency（人間の注目しやすさ）マップ生成アルゴリズムによる嗜好性抽出の妥当性を検討する。その結果に基づき、Saliency マップ生成アルゴリズムを改良することで、画像から嗜好性抽出を行う方法の提案を行った。